

自由民主党 仙台

野田 譲 議員

問 市長再選後の取り組みの総括と市政運営に向けた今後の決意

答 早期復興に向け、事業の進捗を見たものと考えている。一方復興後は、新規開業の促進など持

継続的な経済成長への取り組みの強化に加え、子育て施策の充実など都市の魅力を高めていきたい。繁華街での迷惑な客引き行為防止への取り組み

問 東北最大の繁華街、国分町と一番町はひどい状況だ。客引き排除に向けては、取り締まり強化を待つではなく、厳しい内容の条例を速やかに制定するなど、これまで以上に積極的な取り組みが必要だ。

答 地域の方々との協働で対応する問題であり、意見交換を重ねる必要に応じて、最終的には法的な手段や警察による規制も必要となるため、県警としっかりと協議し、認識を共有しながら環境美化に努める。その他の主な質疑項目

自の上乗せは、運営上必要な財政支援策を講じた上で行うべき。良好な教育環境確保のため学校規模適正化の方針の見直しを多発する教職員の不祥事に対して厳しく処分すべき

問 地下鉄・バスのICカード乗車券「イクスカ」の周知徹底と全国相互利用の早期実現

答 地域経済を支える中小企業の活性化策に早期に取り組みむべき



改札時の利便性が向上するICカード乗車券「イクスカ」

自由民主党 復興仙台

橋本 啓一 議員

問 子ども・子育て支援新制度では、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持つ幼保連携型認定こども園の普及が進められている。私立幼稚園からの移行を促すことにより保育の受け皿の拡充が期待されるが、その取り組みを伺う。

答 本市では、認定こども園への移行を前提に長時間預かり保育

の上乗せ助成を決定したところであり、全幼稚園へ案内し、訪問説明を行うなど、待機児童の解消に向けた取り組みを着実に進めたい。新市立病院の精神科医師の確保について

問 新市立病院では、身体合併症精神科救急医療を計画の柱に位置付けているが、本年4月から常勤の精神科医師が不在となり、体制の確保ができていない。地域の中核病院として、市民の健康と生命を守る役割をしっかりと果たすべく、今後の見通しを伺う。

答 精神科医療関係者との協議を行うとともに独自に養成するなど、取り組みを進めているが、確保できない場合には大病院からの非常勤医師の応援を考えている。引き続き体制の確保に努めたい。



子育て支援の充実を

その他の主な質疑項目

○防災集団移転先宅地の造成と復興公営住宅の整備の見直し

市民フォーラム 仙台

小野寺 健 議員

問 公立小中学校の統廃合にかかる国の基準の見直し

答 今年、国から通知される公立小・中学校の統廃合の基準の見直しにより、市内の小・中学校で標準学級数に満たない学校は各区それぞれどの程度になるのか伺う。

問 策定から6年が経過する基本方針・実施方針の見直しは、教育局だけでなく有識者や地域の声を丁寧に関わってほしい。

答 新たな方針は、議会での議論を経ながら、パブリックコメント等で市民の意見を聞き、年度内の策定を目指したい。また、取り組みを進める際には、地域の方と児童生徒の教育環境の向上に向けて十分の意見交換を行ってきたい。



2002年サッカーW杯イタリア代表キャンプの誘致に沸く当時の市街地

問 住宅地の再生に向けて取り組みを、中央卸売市場・市庁舎・市民会館など建築年度の古い公共建築物の早急な保全および更新を、東日本大震災から3年が経過し当時の記憶が薄れていく中で、記録を残すことは必要。国連防災世界会議に震災記録誌の活用を、東京オリンピック・パラリンピックの開催に際し、キャンプや練習会場の誘致を積極的に。

公明党

佐藤 和子 議員

問 時間の経過とともに、「震災の風化」が進んでいる。風化を防止するために、被災地からさまざまな取り組みを発信し続けなければならない。市長の所見を伺う。

答 震災の風化への懸念がある一方で、震災の記憶や経験を後世に伝える取り組みがなされており、その活動を育てていくこと

問 バス路線再編の最終案は、市民の意見を反映したものであるよう期待するものである。見直しに向けての今後の対応を伺う。

答 市民説明会では、都心直行路線など現行路線の存続、区役所等への路線の新設、地下鉄との乗り継ぎに関する負担増などの意見を直接いただいたほか、メールや郵便等でも多数の意見が寄せら



生出小学校に統合される坪沼小学校

も、風化の防止に重要と考えている。また、来年3月に開催する国連防災世界会議において、東北全体の復興を国内外に発信し、震災の経験や教訓を後世に伝えることが、被災地唯一の政令市の長の責務であると考えており、今後とも鋭意取り組んでまいりたい。

問 バス路線再編の最終案は、市民の意見を反映したものであるよう期待するものである。見直しに向けての今後の対応を伺う。

答 市民説明会では、都心直行路線など現行路線の存続、区役所等への路線の新設、地下鉄との乗り継ぎに関する負担増などの意見を直接いただいたほか、メールや郵便等でも多数の意見が寄せら

代表 表 質 疑

本 党 日 共 産 党

庄司 あかり 議員

問 被災者、住民本位の復興を

答 住宅再建の実費補助は、津波浸水区域の方々の再建方法に応じて定額を補助するものであり、増額は考えていない。また、この補助は津波浸水区域を対象とした県の交付金を主な財源として実施

問 集団的自衛権の行使容認という解釈改憲は立憲主義を否定する暴挙であり、許すべきではない。市長の見解を伺う。

答 国の基本的枠組みをつかさどる憲法の解釈の変更は、一義的には国政の場で判断されるべきものと考えているが、今十分な国民の理解が得られないままに検討が進められていると感じている。集団的自衛権の問題は、将来にわたって我が国が進むべき道に大きく関わる問題であり、国民の理解を得ることが肝要であることから、政府・与党においてしっかりと議論を行っていただきたいと考えている。

問 その他の主な質疑項目



市民の足として重要なバス路線はさらに充実を

問 3年間の復興交付金決定額に対する評価と、今後の復興事業に係る財源確保策を伺う。また、防災財源確保を目的とした個人住民税の税率引き上げについて、増収分の使途を市民へ明確に示すべきと考えるがいかがか。

答 これまでのところ、本市の復興事業に必要な経費はおおむね

社 民 党

相沢 和紀 議員

問 3年間の復興交付金決定額に対する評価と、今後の復興事業に係る財源確保策を伺う。また、防災財源確保を目的とした個人住民税の税率引き上げについて、増収分の使途を市民へ明確に示すべきと考えるがいかがか。

答 これまでのところ、本市の復興事業に必要な経費はおおむね

問 高校入試の可否は15歳の春に大きな衝撃を与える。多くの不合格者を生む公立高校の二段階選抜試験の廃止を求めるが、市教育委員会としての認識と対応を問う。

答 このたび、高等学校入学者選抜審議会より出願状況を踏まえた改善が必要との提言をいただき、前期選抜の募集割合を拡大するこ



仙台地区の応募倍率は約3倍 26年度入学者選抜(前期)の答案用紙

とにしたところである。引き続き、県教育委員会と連携の上、検討してまいりたい。

問 高松防潮堤の整備と今後の対応

答 海岸防潮堤の整備と今後の対応から、その理解を広めるため作成されたマーク。市バス、地下鉄の優先席に表示してある。

常任委員会 審議の概要

平成26年6月24日開催 (総務財政委員会、健康福祉委員会は6月25日も開催)

市民教育委員会

付託された4議案のうち、第93号議案は賛成多数で、第85号議案、第99号議案および第100号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

都市整備建設委員会

付託された8議案のうち、第78号議案、第80号議案および第81号議案は賛成多数で、その他5議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

総務財政委員会

付託された7議案のうち、第78号議案および第84号議案は賛成多数で、その他5議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

健康福祉委員会

付託された9議案のうち、第82号議案、第83号議案および第87号議案は賛成多数で、第78号議案、第86号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

議員表彰

永年にわたる市政発展に尽くされた功績により、全国市議会議長会総会において、次の議員が表彰されました。

- 特別表彰(議員在職25年以上) 渡辺 博
- 特別表彰(議員在職15年以上) 柳橋 邦彦
- 特別表彰(議員在職10年以上) 高橋 次男
- 一般表彰(議員在職10年以上) 庄司 俊充
- 一般表彰(議員在職10年以上) 岡部 恒司
- 一般表彰(議員在職10年以上) 田川 建治
- 一般表彰(議員在職10年以上) 石村 隆
- 一般表彰(議員在職10年以上) 佐藤 わか子
- 一般表彰(議員在職10年以上) 花 木 則 彰
- 一般表彰(議員在職10年以上) 安孫子 雅浩
- 一般表彰(議員在職10年以上) ふるくぼ 和子

経済環境委員会

付託された2議案は、すべて全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

その他の主な質疑項目

○復興公営住宅の整備の見直し